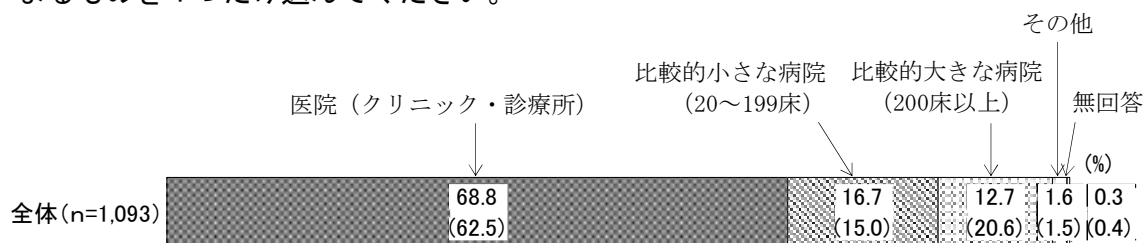


Ⅸ 健康と保健・医療等に関する意識

1. 最初にかかる医療機関

－「医院（クリニック・診療所）」が約7割－

問24 あなたは、医療機関を利用する場合に、最初にどこに行きますか。次の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



※（ ）内の数値は、平成23年の調査結果

最初にかかる医療機関としては、「医院（クリニック・診療所）」（68.8%）が約7割と最も高く、「比較的小さな病院（20～199床）」（16.7%）と「比較的大きな病院（200床以上）」（12.7%）が1割台となっている。

－「医院（クリニック・診療所）」が約6ポイント増加－

前回調査（平成23年）と比べると、「医院（クリニック・診療所）」が約6ポイント増加している。一方、「比較的大きな病院（200床以上）」は約8ポイント減少している。

－県南で「医院（クリニック・診療所）」が7割台半ば－

地域別でみると、「医院（クリニック・診療所）」は、県南（73.9%）で7割台半ばと最も高くなっている。

－県北で「比較的小さな病院」が2割台半ば－

地域別でみると、「比較的小さな病院」は、県北（25.1%）で2割台半ばと最も高くなっている。

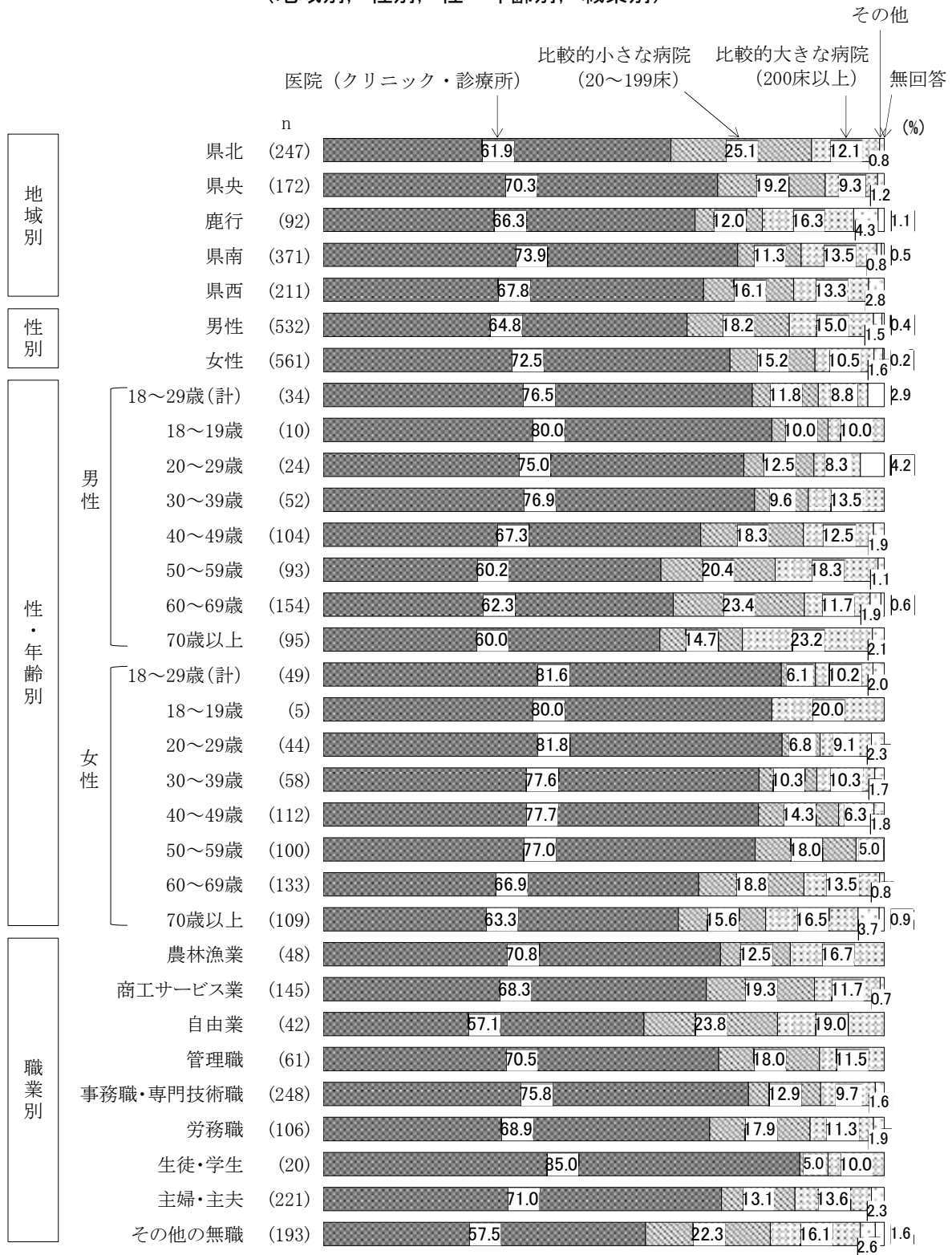
－女性で「医院（クリニック・診療所）」が男性よりも約8ポイント高い－

性別でみると、「医院（クリニック・診療所）」は、女性（72.5%）が男性（64.8%）よりも約8ポイント高くなっている。

－女性の18～29歳で「医院（クリニック・診療所）」が8割超－

性・年齢別でみると、「医院（クリニック・診療所）」は、女性の18～29歳（81.6%）で8割を超えて最も高くなっている。

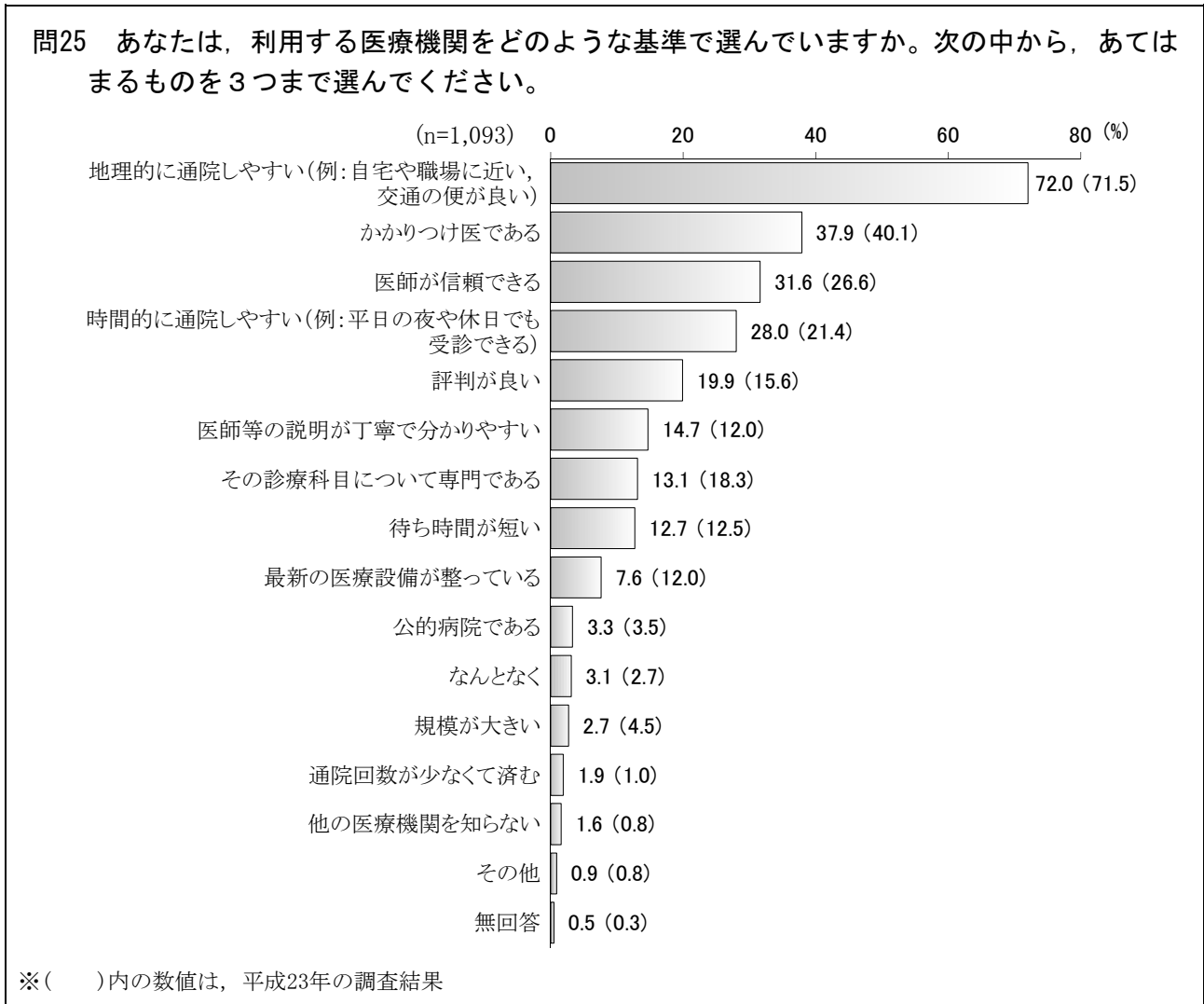
図区 24-1 最初にかかる医療機関
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別)



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

2. 医療機関の選択基準

－「地理的に通院しやすい」が7割超－



医療機関の選択基準としては、「地理的に通院しやすい(例:自宅や職場に近い,交通の便が良い)」(72.0%)が7割を超えて最も高く、次いで、「かかりつけ医である」(37.9%)と「医師が信頼できる」(31.6%)が3割台で続いている。

－「時間的に通院しやすい」が約7ポイント増加－

前回調査(平成23年)と比べると、「時間的に通院しやすい(例:平日の夜や休日でも受診できる)」が約7ポイント、「医師が信頼できる」が5ポイント増加している。一方、「その診療科目について専門である」は約5ポイント減少している。

－県央で「かかりつけ医である」が4割台半ば－

地域別でみると、「かかりつけ医である」は、県央(44.2%)で4割台半ばと最も高くなっている。

－県西で「医師が信頼できる」が約4割－

地域別でみると、「医師が信頼できる」は、県西(39.3%)で約4割と最も高くなっている。

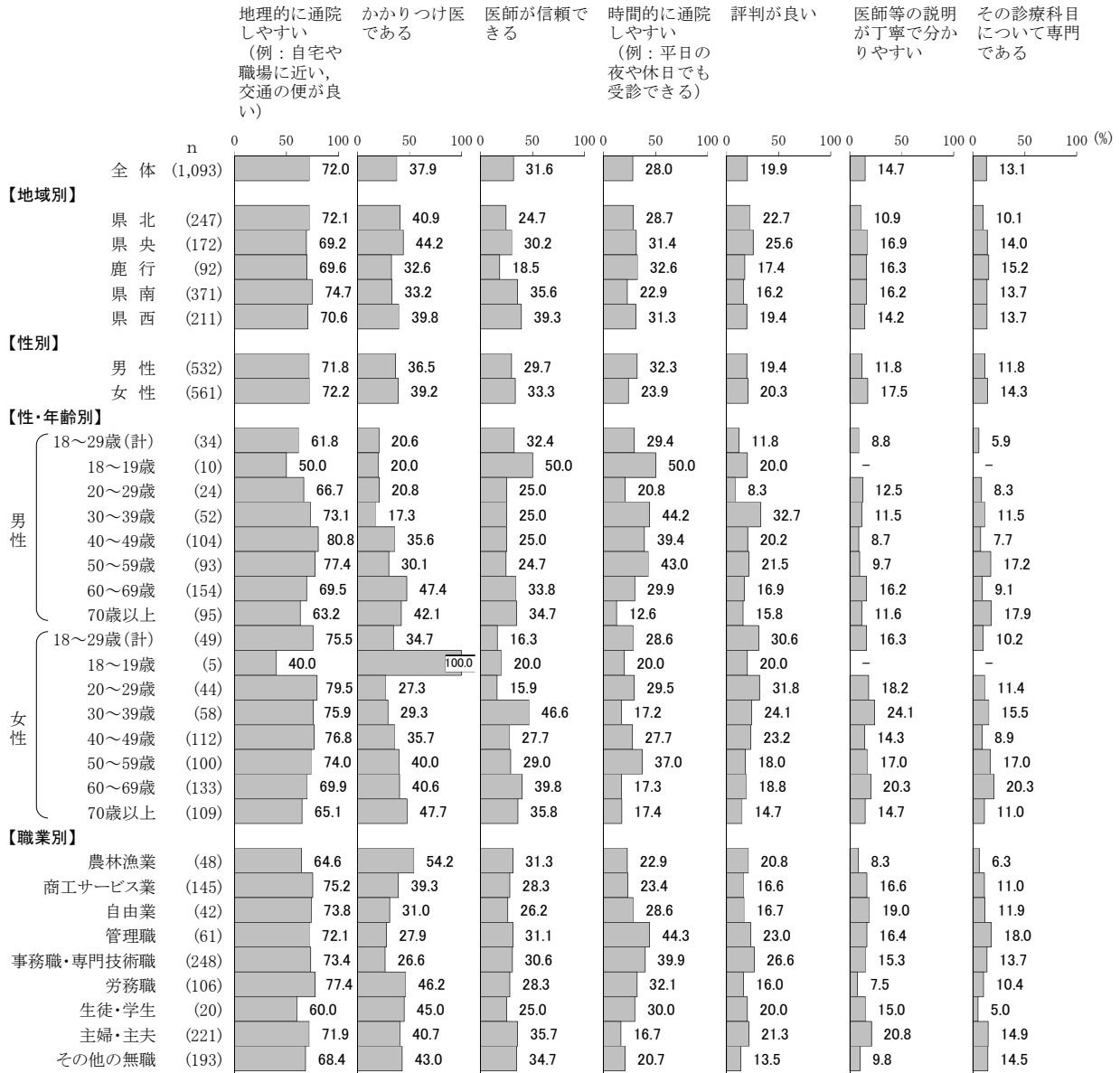
－男性で「時間的に通院しやすい」が女性よりも約8ポイント高い－

性別でみると、「時間的に通院しやすい(例:平日の夜や休日でも受診できる)」は、男性(32.3%)が女性(23.9%)よりも約8ポイント高くなっている。

一男性の40代と50代で「地理的に通院しやすい」が約8割一

性・年齢別でみると、「地理的に通院しやすい（例：自宅や職場に近い、交通の便が良い）」は、男性の40代（80.8%）と50代（77.4%）で約8割と高くなっている。

図区 25-1 医療機関の選択基準
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別—上位7項目)



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

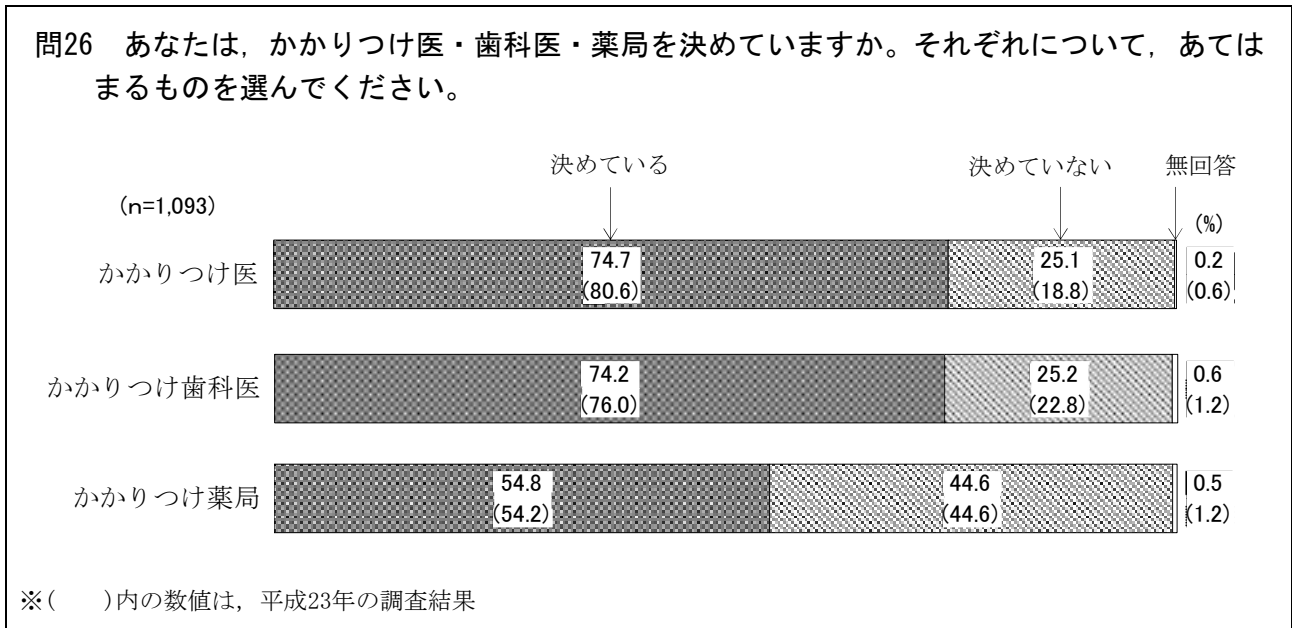
表区 25-1 医療機関の選択基準
(前回調査との比較—上位5項目)

	1位	2位	3位	4位	5位
今回調査 (H28)	地理的に通院しやすい (例：自宅や職場に近い、交通の便が良い) 72.0	かかりつけ医である 37.9	医師が信頼できる 31.6	時間的に通院しやすい (例：平日の夜や休日でも受診できる) 28.0	評判が良い 19.9
前回調査 (H23)	地理的に通院しやすい (例：自宅や職場に近い、交通の便が良い) 71.5	かかりつけ医である 40.1	医師が信頼できる 26.6	時間的に通院しやすい (例：平日の夜や休日でも受診できる) 21.4	その診療科目について専門である 18.3

3. かかりつけ医の医療機関

(1) かかりつけ医等の有無

－かかりつけ医，かかりつけ歯科医は「決めている」が7割台半ば－



かかりつけ医等の有無を聞いたところ，「決めている」は，かかりつけ医（74.7%）とかかりつけ歯科医（74.2%）が7割台半ば，かかりつけ薬局（54.8%）が5割台半ばとなっている。

－かかりつけ医を「決めている」が約6ポイント減少－

前回調査（平成23年）と比べると，かかりつけ医を「決めている」が約6ポイント減少している。

〈かかりつけ医〉

－県南と県央で「決めている」が約8割－

地域別でみると，「決めている」は，県南（77.4%）と県央（77.3%）で約8割と高くなっている。一方，「決めていない」は，鹿行（38.0%）で約4割と最も高くなっている。

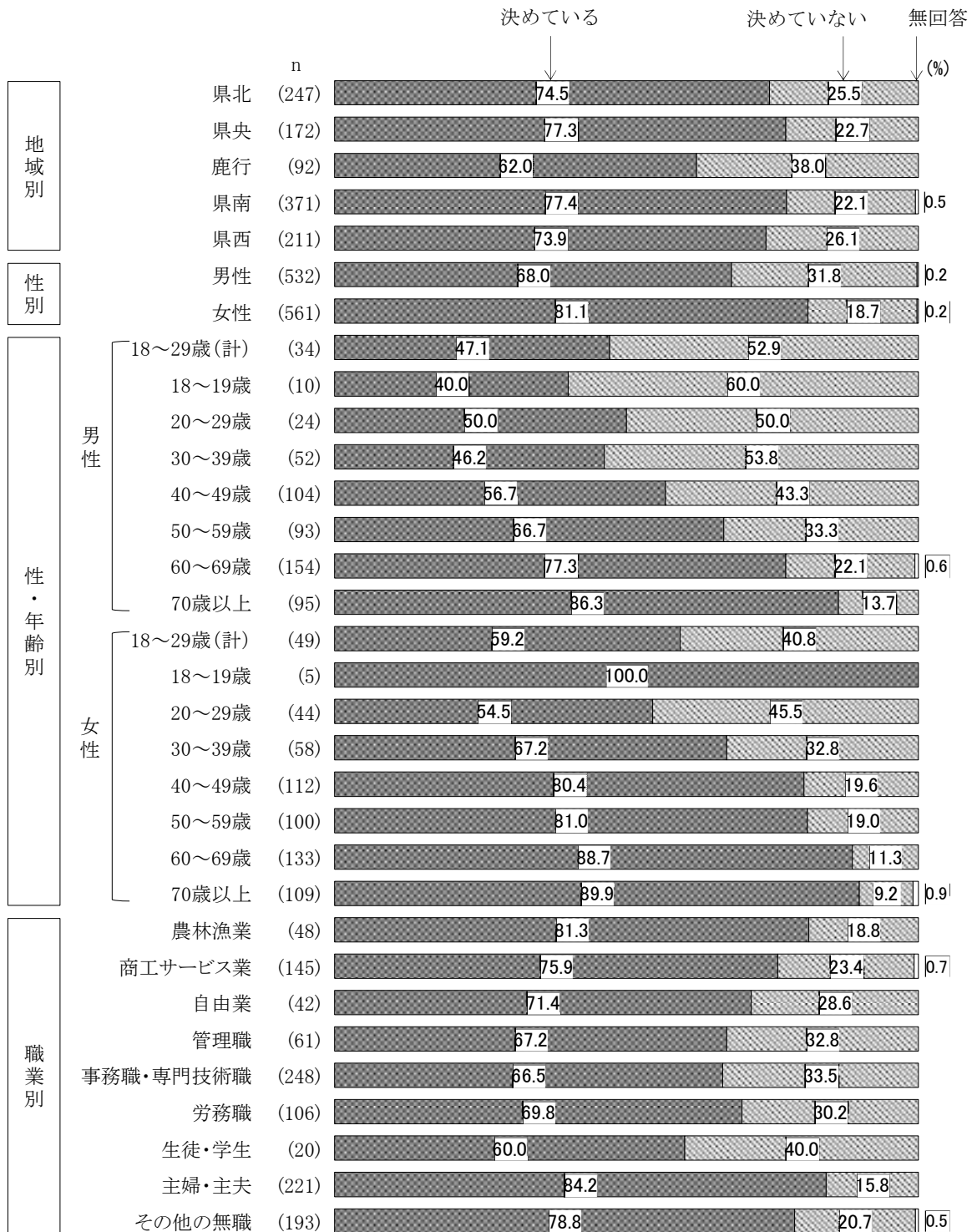
－女性で「決めている」が男性よりも約13ポイント高い－

性別でみると，「決めている」は，女性（81.1%）が男性（68.0%）よりも約13ポイント高くなっている。

－女性の60代と70歳以上で「決めている」が約9割－

性・年齢別でみると，「決めている」は，女性の60代（88.7%）と70歳以上（89.9%）で約9割と高くなっている。

図区 26-1 かかりつけ医等の有無 かかりつけ医
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別)



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

〈かかりつけ歯科医〉

－県西，県央，県北で「決めている」が約8割－

地域別でみると，「決めている」は，県西（78.7%），県央（78.5%），県北（78.1%）で約8割と高くなっている。一方，「決めていない」は，鹿行（33.7%）で3割台半ばと最も高くなっている。

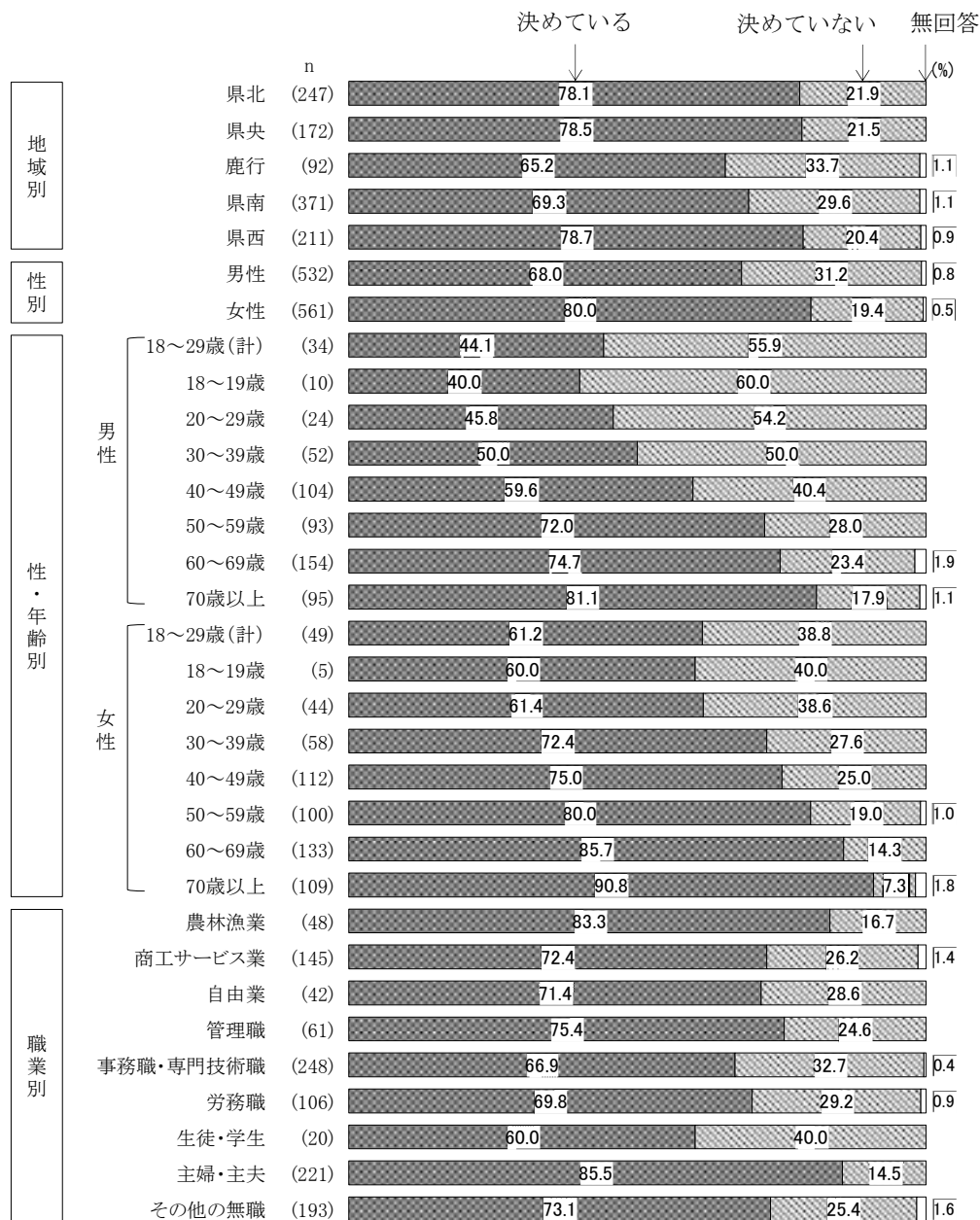
－女性で「決めている」が男性よりも12ポイント高い－

性別でみると，「決めている」は，女性（80.0%）が男性（68.0%）よりも12ポイント高くなっている。

－女性の70歳以上で「決めている」が約9割－

性・年齢別でみると，「決めている」は，女性の70歳以上（90.8%）で約9割と最も高く，次いで，女性の60代（85.7%）で8割台半ばと高くなっている。

図区 26-2 かかりつけ医等の有無 かかりつけ歯科医
(地域別，性別，性・年齢別，職業別)



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では，18～19歳，20～29歳よりも18～29歳の層の分析を優先する。

〈かかりつけ薬局〉

－県南で「決めている」が約6割－

地域別でみると、「決めている」は、県南（59.8%）で約6割と高くなっている。一方、「決めていない」は、鹿行（55.4%）で5割台半ばと最も高くなっている。

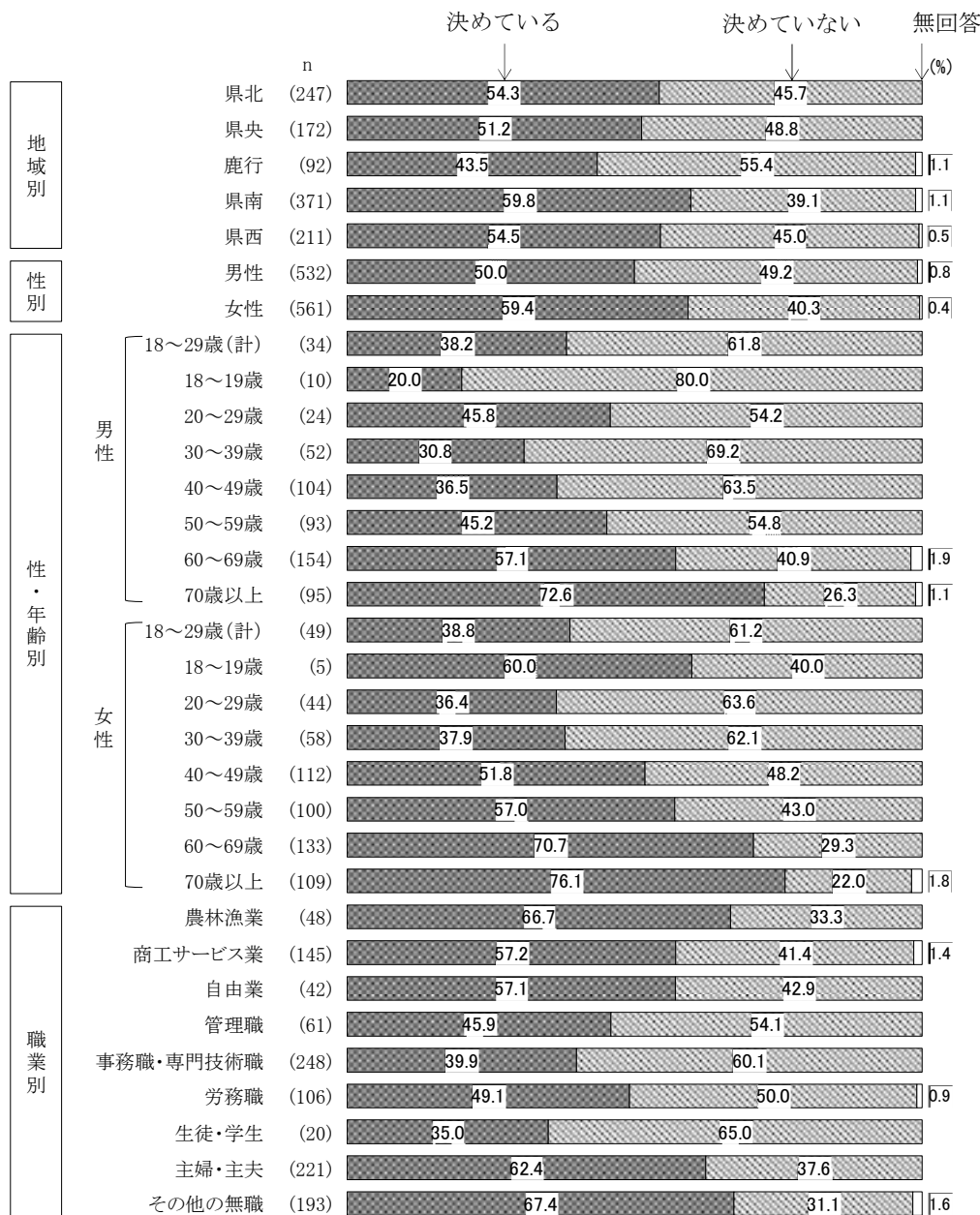
－女性で「決めている」が男性よりも約9ポイント高い－

性別でみると、「決めている」は、女性（59.4%）が男性（50.0%）よりも約9ポイント高くなっている。

－女性の70歳以上で「決めている」が7割台半ば－

性・年齢別でみると、「決めている」は、女性の70歳以上（76.1%）で7割台半ばと最も高く、次いで、男性の70歳以上（72.6%）と女性の60代（70.7%）で7割を超えて高くなっている。

図区 26-3 かかりつけ医等の有無 かかりつけ薬局
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別)



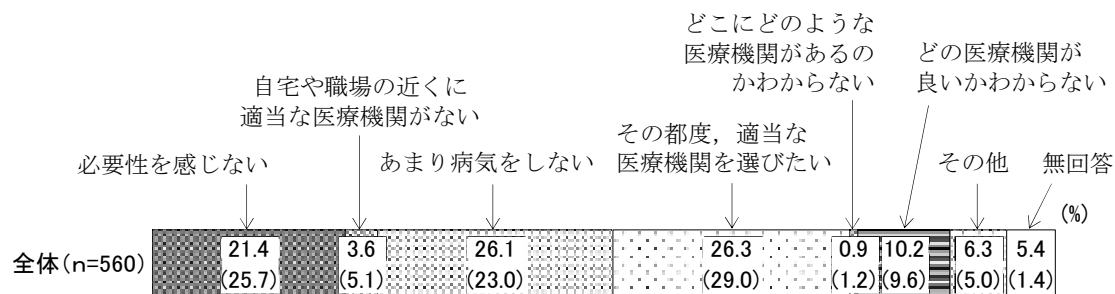
(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18～19歳、20～29歳よりも18～29歳の層の分析を優先する。

(2) かかりつけ医等を決めていない理由

－「その都度、適切な医療機関を選びたい」と「あまり病気をしない」が2割台後半－

(問26で「2 決めていない」を1つ以上選んだ方のみ)

問26-1 あなたが、かかりつけの医療機関を決めていないのはなぜですか。次の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



※()内の数値は、平成23年の調査結果

かかりつけ医等を決めていない理由としては、「その都度、適切な医療機関を選びたい」(26.3%)と「あまり病気をしない」(26.1%)が2割台後半と高く、次いで、「必要性を感じない」(21.4%)が2割台前半で続いている。

－「あまり病気をしない」が約3ポイント増加－

前回調査(平成23年)と比べると、「あまり病気をしない」が約3ポイント増加している。一方、「必要性を感じない」は約4ポイント減少している。

－県西で「その都度、適切な医療機関を選びたい」が3割台半ば－

地域別でみると、「その都度、適切な医療機関を選びたい」は、県西(34.0%)で3割台半ばと最も高くなっている。

－鹿行で「あまり病気をしない」が3割台半ば－

地域別でみると、「あまり病気をしない」は、鹿行(34.5%)で3割台半ばと最も高くなっている。

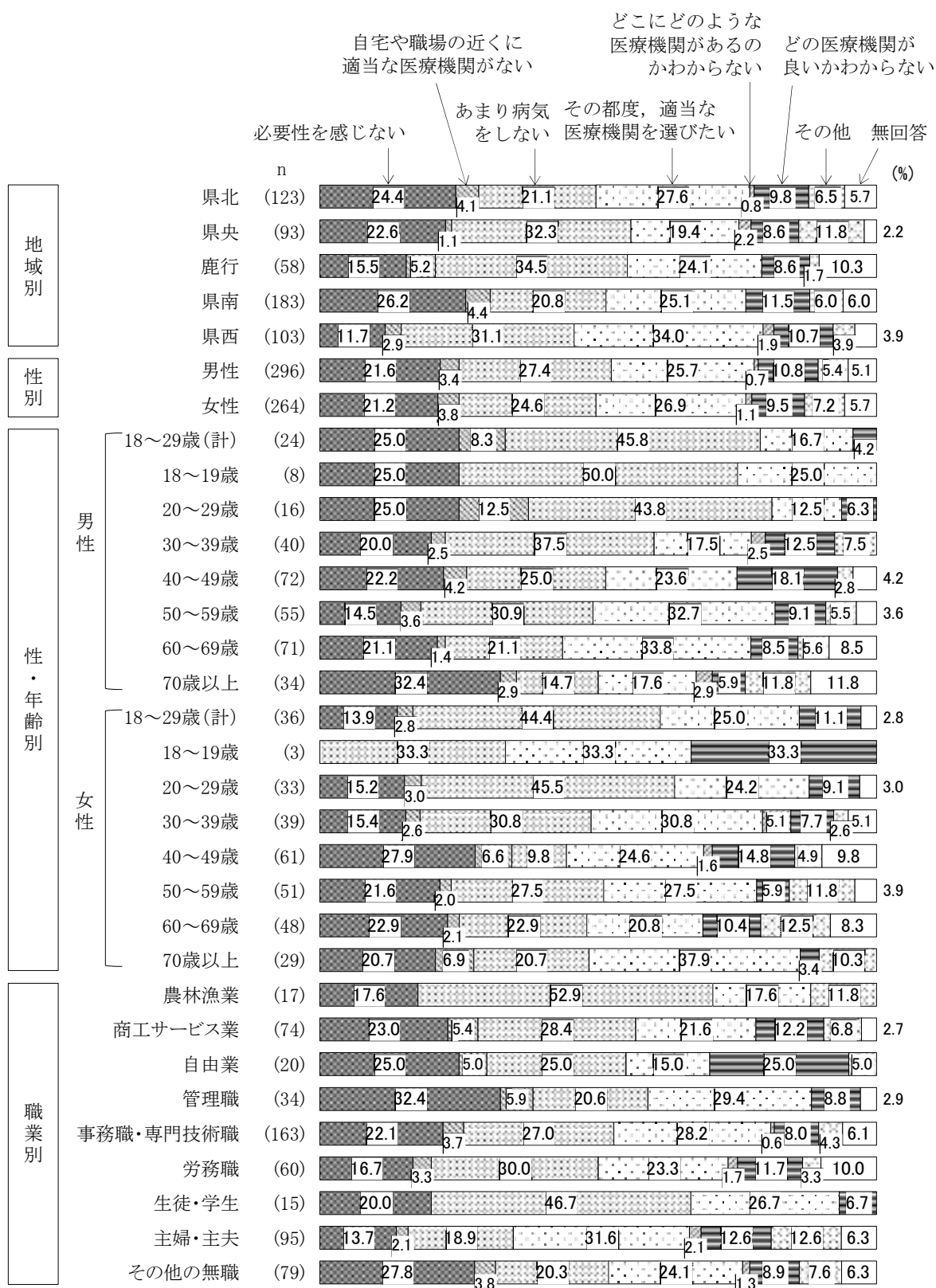
－女性の18～29歳で「あまり病気をしない」が4割台半ば－

性・年齢別でみると、「あまり病気をしない」は、女性の18～29歳(44.4%)で4割台半ばと高く、次いで、男性の30代(37.5%)で約4割となっている。

－主婦・主夫で「その都度、適切な医療機関を選びたい」が3割超－

職業別でみると、「その都度、適切な医療機関を選びたい」は、主婦・主夫(31.6%)で3割を超えて高くなっている。

図区 26-1-1 かかりつけ医等を決めていない理由
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別)

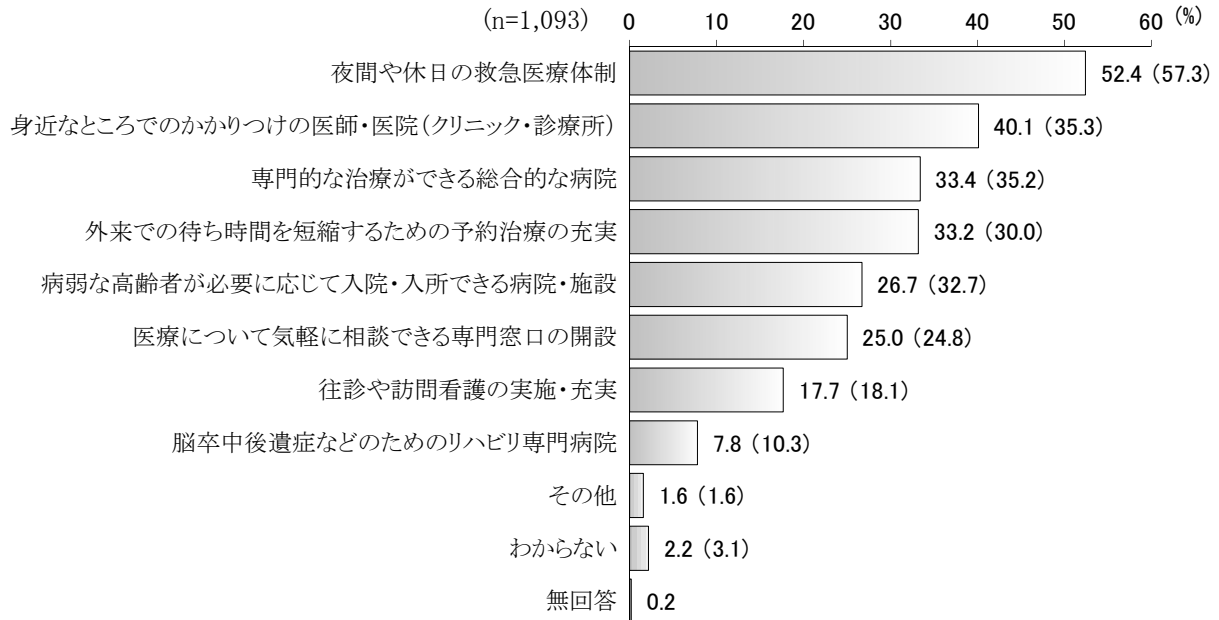


(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

4. 身近な地域に期待する医療施設や医療サービス

－「夜間や休日の救急医療体制」が5割超－

問27 あなたは、今後あなたの身近な地域にどのような医療施設や医療サービスを期待しますか。次の中から、あてはまるものを3つまで選んでください。



※()内の数値は、平成23年の調査結果

※「わからない」は、平成23年は「わからない・無回答」

身近な地域に期待する医療施設や医療サービスとしては、「夜間や休日の救急医療体制」(52.4%)が5割を超えて最も高く、次いで、「身近なところでのかかりつけの医師・医院(クリニック・診療所)」(40.1%)が4割台、「専門的な治療ができる総合的な病院」(33.4%)と「外来での待ち時間を短縮するための予約治療の充実」(33.2%)が3割台で続いている。

－「身近なところでのかかりつけの医師・医院(クリニック・診療所)」が約5ポイント増加－

前回調査(平成23年)と比べると、「身近なところでのかかりつけの医師・医院(クリニック・診療所)」が約5ポイント増加している。一方、「病弱な高齢者が必要に応じて入院・入所できる病院・施設」が6ポイント、「夜間や休日の救急医療体制」が約5ポイント減少している。

－県西と鹿行で「夜間や休日の救急医療体制」が約6割－

地域別でみると、「夜間や休日の救急医療体制」は、県西(60.7%)と鹿行(58.7%)で約6割と高くなっている。

－鹿行で「身近なところでのかかりつけの医師・医院(クリニック・診療所)」と「専門的な治療ができる総合的な病院」が4割台半ば－

地域別でみると、鹿行では、「身近なところでのかかりつけの医師・医院(クリニック・診療所)」(46.7%)と「専門的な治療ができる総合的な病院」(44.6%)が4割台半ばとそれぞれ最も高くなっている。

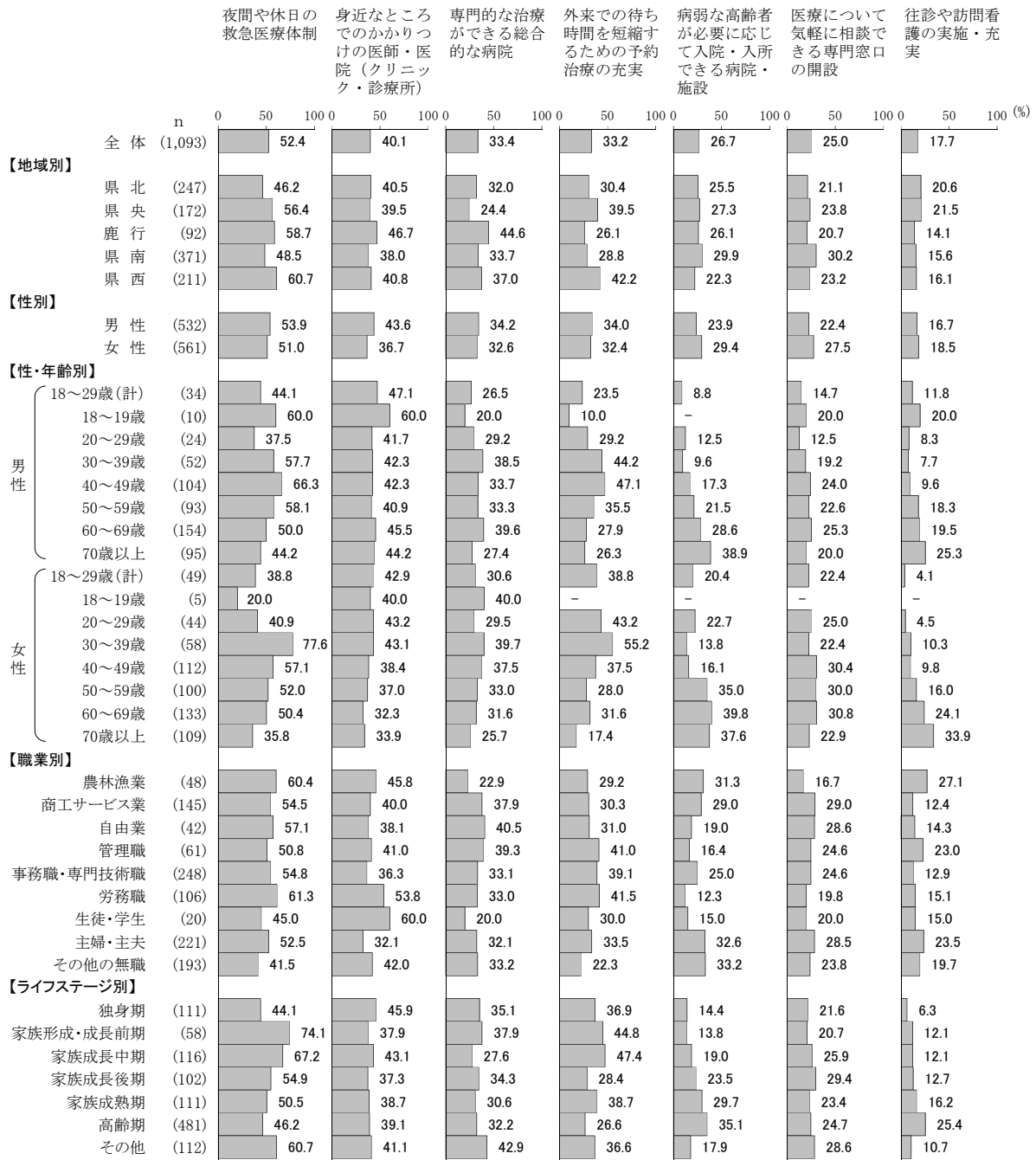
－男性で「身近なところでのかかりつけの医師・医院（クリニック・診療所）」が女性よりも約7ポイント高い－

性別で見ると、「身近なところでのかかりつけの医師・医院（クリニック・診療所）」は、男性（43.6%）が女性（36.7%）よりも約7ポイント高くなっている。一方、「病弱な高齢者が必要に応じて入院・入所できる病院・施設」は、女性（29.4%）が男性（23.9%）よりも約6ポイント、「医療について気軽に相談できる専門窓口の開設」は、女性（27.5%）が男性（22.4%）よりも約5ポイント高くなっている。

－女性の30代で「夜間や休日の救急医療体制」が約8割、「外来での待ち時間を短縮するための予約治療の充実」が5割台半ば－

性・年齢別で見ると、「夜間や休日の救急医療体制」は、女性の30代（77.6%）で約8割と最も高く、次いで、男性の40代（66.3%）で6割台半ばと高くなっている。また、「外来での待ち時間を短縮するための予約治療の充実」も、女性の30代（55.2%）で5割台半ばと最も高く、次いで、男性の30代（44.2%）と40代（47.1%）で4割台と高くなっている。

図区 27-1 身近な地域に期待する医療施設や医療サービス
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別—上位7項目)



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

表区 27-1 身近な地域に期待する医療施設や医療サービス
(前回調査との比較—上位5項目)

	1位	2位	3位	4位	5位
今回調査 (H28)	夜間や休日の救急医療体制	身近なところでのかかりつけの医師・医院 (クリニック・診療所)	専門的な治療ができる総合的な病院	外来での待ち時間を短縮するための予約治療の充実	病弱な高齢者が必要に応じて入院・入所できる病院・施設
n=1,093	52.4	40.1	33.4	33.2	26.7
前回調査 (H23)	夜間や休日の救急医療体制	身近なところでのかかりつけの医師・医院 (クリニック・診療所)	専門的な治療ができる総合的な病院	病弱な高齢者が必要に応じて入院・入所できる病院・施設	外来での待ち時間を短縮するための予約治療の充実
n=1,167	57.3	35.3	35.2	32.7	30.0

5. 臓器提供意思表示カード等への意思の記入

－「記入している」は約1割－

問28 次に「臓器提供と意思表示」についてお伺いします。

運転免許証・健康保険証の裏面や、マイナンバーカードには「臓器提供意思表示欄」がありますが、あなたは、ご自身の臓器提供に関する意思を、それらのいずれか又は臓器提供意思表示カードに記入していますか。



臓器提供意思表示カード等へ、提供に関する意思を「記入している」(9.3%)は約1割となっている。一方、「記入していない」(90.4%)は約9割となっている。

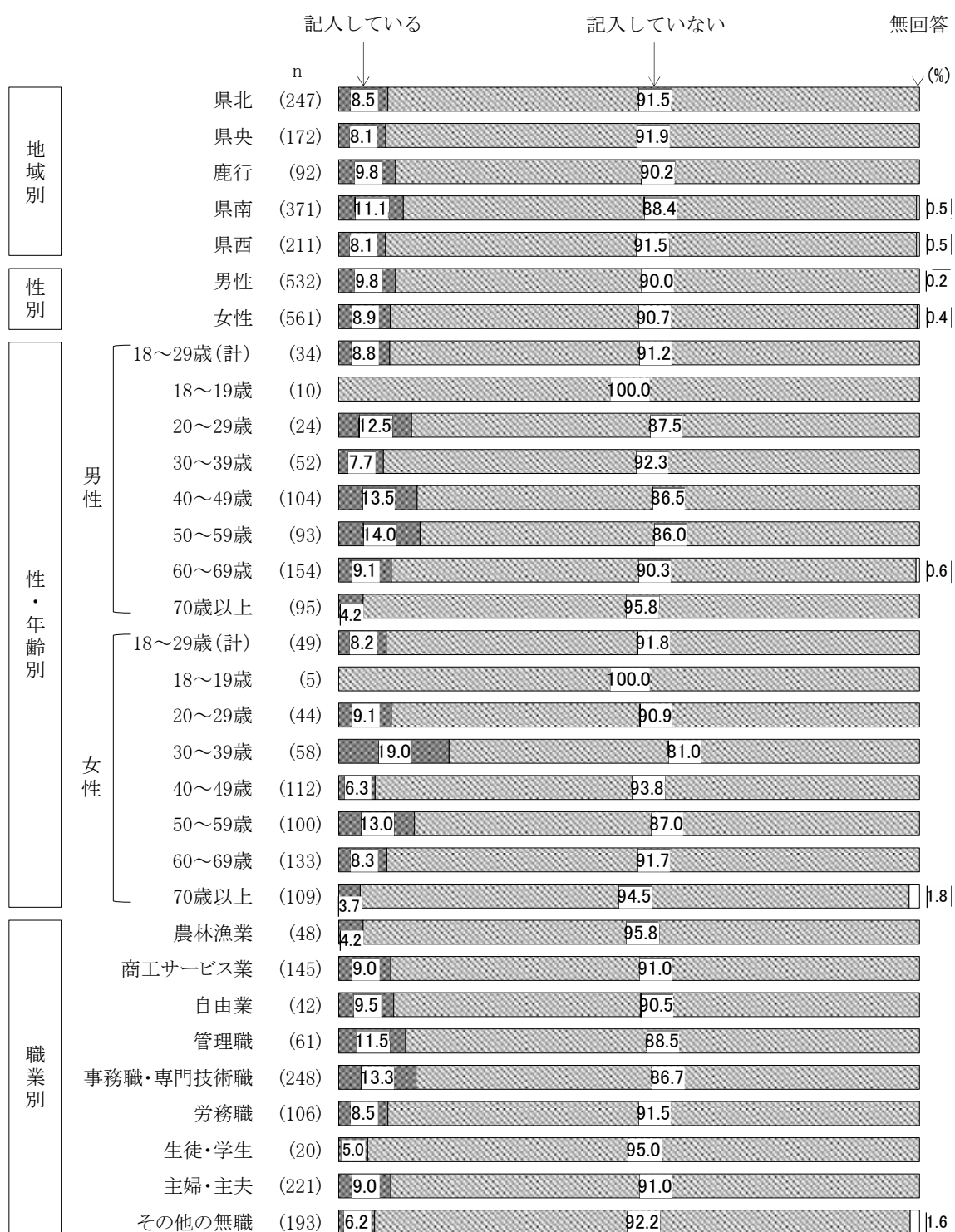
－特に大きな男女差はない－

性別でみると、特に大きな差はみられない。

－女性の30代で「記入している」が約2割－

性・年齢別でみると、「記入している」は、女性の30代(19.0%)で約2割と最も高くなっている。

図区 28-1 臓器提供意思表示カード等への意思の記入
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別)



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

表区 28-1 記入しているカード等

(単位: %)

全体	運転免許証	健康保険証	臓器提供意思表示カード	マイナンバーカード	無回答
n=102	44.1	43.1	25.5	3.9	5.9